

授業科目 言語発達障害演習Ⅰ

【担当教員名】 市島民子	対象学年	2	対象学科	言語
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	15

<概要>

言語発達遅滞のアセスメントについて学習し、演習する
 諸検査の適応範囲と使用方法を学び、検査を学生同士で実施体験する
 言語学習能力診断検査（ITPA）を実施する

<学習目標>

- ・検査器具の目的に合った選択と実際の使用
- ・検査結果を解釈し、障害の臨床像および指導プログラムをたてる（考える）過程を学習、演習する
 ITPAを実施し、結果を解釈して、報告書を作成、提出する

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	検査（評価）の一般論と留意点		講義
2	言語臨床に使用される諸検査 簡便な検査	解説および使用手続き PVT他実施	講義 講義、演習
3	言語発達遅滞検査<s-s>法	解説および使用手続き	講義、演習
4	指導プログラムのたてかた	実際に、1課題の指導ステップを組む	講義
5	ITPA	実施手続・解説	講義
6	ITPA	実施手続・解説	演習
7	演習	実施	演習

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書				
参考書	入門コース・ことばの発達と障害3：ことばの障害の評価と指導	大石敬子編	大修館書店	2001年 2400円
その他の資料	プリント使用			

【評価方法】 出席、小レポート、 演習課題	【履修上の留意点】 言語発達障害Ⅰ・Ⅱの学習を基盤に進めるので、基礎的知識をもって受講してほしい。
-----------------------------	--

言語聴覚学科 専門